ＦＤ

プログラム番号　08203A

学習評価の基本

■講師

山田　剛史
（愛媛大学　教育・学生支援機構　教育企画室　准教授）

神戸大学大学院総合人間科学研究科・博士後期課程修了。博士（学術）。島根大学教育開発センター講師・実施部門長、副センター長・准教授を経て、2011 年より現職。2012 年より教育調査・分析部門長、経営情報分析室室員を務める。著書に、『大学の IR Q&A』（共著、近刊予定）、『生成する大学教育学』（共著）、『大学生の学習・生活実態調査報告書』（共著）、『自己意識研究の現在 2』（共著）などがある。

■プログラム概要

なぜ学習の評価をするのでしょうか。学習の評価には、最終的な成績を評価する以外にも様々な目的や役割があります。本プログラムでは、学習評価の基本的基礎的知識である、学習評価の原則（何を、どのように、いつ評価するのか）、学習評価の方法（どのような方法や特徴があるのか）、よい試験を行うための留意点、学習評価の厳密化と効率化のためのツール（ルーブリック評価やピア評価など）といった内容について学びます。

実際に、自身のシラバスなどを元に学習評価を振り返り、参加者同士で共有しながら、学生の主体的な学びを促進するための学習評価について深めていきたいと思います。

■主な受講対象

学習評価に関わる教員

■本プログラムの到達目標

1. 学習評価の原則を説明することができる
2. 形成的評価と総括的評価の違いと重要性を説明できる
3. 多様な学習評価方法を知り、自らの授業で活用できる

■日時・会場・受講定員

日　　時　：　平成25年8月20日（火）15:30～17:30
会　　場　：　愛媛大学　城北キャンパス　共通教育講義棟　2階　23番教室
定　　員　：　50名